

2004年(平成16年)3月1日(月曜日)

IT制御管理で2講演

町村下水協 京都府支部 京都市内で実務研修会

全国町村下水推進協議会 京都府支部(支部長 糸井弘志・岩滝町長)の平成15年度第1回実務研修会が10日、会員ら約40名が参加するなか、京都市南区のホテルセントノーム京都で開催された。研修会では「インターネット、iモードを利用した制御管理システムの構築と実施例」など2題の講演が行われた。

糸井支部長の挨拶後、山口雅明・㈱NTTドコモ中国モバイルマルチメディア推進部長が「インターネット、Web、iモードおよびDopPa網等の発展経緯と現状、未来について」と



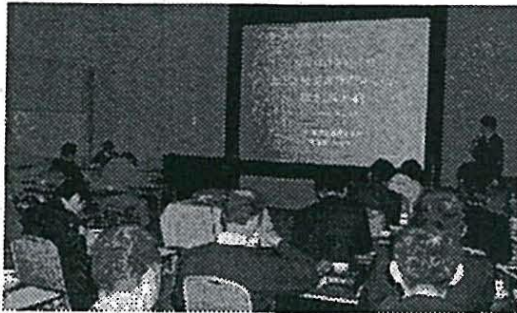
小松社長

題して講演。パケット通信のデータ通信サービス「DopPa(ドゥーパ)」による水質環境データの計測などを説明した。

昼食後の冒頭、小松昭夫

・小松電機産業(株)代表取締役が「当社ではインターネット・携帯電話などによる遠隔制御管理システムを提案しており、今後も技術向上を図りたい」と挨拶。続いて、同社環境部の川中氏が「インターネット、iモードを利用した上下水道制御管理システムの構築と実施例」について講演した。

この中で、川中氏は同社製品の制御管理システム「やくも水神」などを紹介しながら、「施設管理は通報監視から制御管理の時代を迎えている。災害時の危機管理や市町村合併などに対応し、維持管理費の低減も期待できる」とまとめた。



関係者ら40名が参加